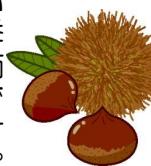


日中は、まだ気温が高いですが、朝夕は涼しくなり、秋を感じるようになります。秋と言えば、学問の秋、読書の秋、スポーツの秋と、何をするにもよい季節です。



## 後期スタート

# 中央っ子3 やる気スイッチ

第9号  
令和7年10月17日  
中央小学校  
文責 上原

学校生活の節目となる後期始業式では、子どもたちにやる気を持つて勉強や運動に取り組んでほしいと思い、「やる気スイッチ」について話しました。ところで、「やる気スイッチ」はどこにあり、どうやつたらONにできるのでしょうか。Nにできるのでしようか。

「やる気スイッチ」は、脳の中央下部にある「線条体」に存在すると考えられています。やる気や意欲の中核を担っているこの部分が活性化することでやる気が生まれるそうです。

子どもたちには、「あいさつ、返事、良い姿勢」も自分でスイッチを入れる方法の一つと紹介しました。

四年生の学級代表児童が、前期の振返り返りや後期に頑張りたいことなどを発表してくれました。全員でプレゼンするなど、日頃の学習を生かして工夫した発表をしていました。聞いている子ども達も、自分られました。

聞きなきな気持ちを持たせて、子ども達も、自分真剣に聞く姿が見られました。



© 2024 荒尾市立中央小学校

学校生活の節目となる後期始業式では、子どもたちにやる気を持つて勉強や運動に取り組んでほしいと思い、「やる気スイッチ」について話しました。ところで、「やる気スイッチ」はどこにあり、どうやつたらONにできるのでしょうか。Nにできるのでしようか。

「やる気スイッチ」は、脳の中央下部にある「線条体」に存在すると考えられています。やる気や意欲の中核を担っているこの部分が活性化することでやる気が生まれるそうです。

子どもたちには、「あいさつ、返事、良い姿勢」も自分でスイッチを入れる方法の一つと紹介しました。

四年生の学級代表児童が、前期の振返り返りや後期に頑張りたいことなどを発表してくれました。全員でプレゼンするなど、日頃の学習を生かして工夫した発表をしていました。聞いている子ども達も、自分られました。

聞きなきな気持ちを持たせて、子ども達も、自分真剣に聞く姿が見られました。

前期の終業式では、二年生と四年生の学級代表児童が、また、後期始業式では、一年生と六年生の学級代表児童が、前期の振り返り返りや後期に頑張りたいことなどを発表してくれました。全員でプレゼンするなど、日頃の学習を生かして工夫した発表をしていました。聞いている子ども達も、自分られました。

聞きなきな気持ちを持たせて、子ども達も、自分真剣に聞く姿が見られました。

また、同日昼休みには、運営委員会の企画による「逃走中」も実施され、参加した子供たちが、笑顔いっぱいで走り回る姿が見られました。

十月二十五日（土）には、「第三回中央感謝祭」を予定しています。六年生児童が中心となって準備を進めしており、地域の方や商店・事業所などの協力を得ながら、アイデアや工夫を凝らした販売及び体験ブース、スケッチ発表を企画しています。



## 主体的に取り組む

通して、子どもたちが主体的に動く姿、輝く笑顔が見られ、自ら性や協働性、責任感、達成感など、多くのことを学び、感じ取る機会となっています。

十月八日（水）に、五年生の企画・運営による「えがおプロジェクト」が行われました。そこでは、異学年交流を通して、つながりを深め、協力し助け合う形で心を持つことを目的に、二年生を招待する形で実施されました。場づくりや施設されましたが、午前中に一～五年生の公開授業、午後には六年生による「中央感謝祭」を予定しています。多くの皆様の来校をお待ちしています。

## 登下校について

学校では、安全のために、登下校時は赤白（一年生は黄色）帽子をかぶり、広がらずに歩道を歩くよう指導しています。しかし、歩道や道路の歩き方、横断の仕方など、「危ない場面があつた」と地域の方からご連絡をいただきます。児童の命、互いの安全を守るために、登下校の仕方や通学路と地域の方からご連絡をいただきます。

これらの活動は、子どもたちが主體となつて、学校生活を楽しく豊かにすることを目指しているものです。取り組んでいます。

日々の出も遅くなります。併せて、児童の安全確保や防犯の面から、登校時刻の目安について見直しを検討しています。